

端はたの左衛門さえもんの墓はか

●所在地／三秋端 ●所有者／三秋地区

左衛門については多くの伝説が残っている。

広島に生まれ、三秋端みあきに集落ひらを拓いた。

鉄砲撃ちの名人で、9 発の弾丸を撃ち込んで九曜くようの紋もんの形を寸分違わず作ったり、鶴が鳴いて口を開けた時にその舌を撃ち切ったりした。

大洲かんなんざんの神南山に住むヒヒの退治により殿様の危急を救い、その褒美に端の租税を 4 分の 1 にしてもらった。

墓碑には「釈明好秋運墓 俗名佐右衛門 元禄七甲戌歳八月十六日」(1694

年) と刻されている。また、端の菩提寺である松前町まさきの善正寺ぜんしょうじには位牌と過去帳が残っており、それには「釈明好穉運善士霊 元禄七甲戌歳八月十六日 俗名佐右衛門」と記されている。

